

生きる力をはぐくみ 新しい時代を拓く “きづがわっ子” を目指して

平成30年度 木津川市教育委員会

子どもたちの学力向上を目指し、保護者・地域の皆様とともに

～ 平成30年度全国学力・学習状況調査結果から ～

木津川市の小・中学校では、子どもたちが未来の社会を自立し、豊かに生きていく基盤を育むため、全ての子どもたちに質の高い学力を身に付けさせるとともに、一人一人の能力、個性を最大限に伸ばす教育の推進に努めております。

子どもたちの健やかな成長のためには、子どもたちの現在の実態を直視し、学校・家庭・地域社会が連携し、社会総がかりで子どもを守り育てることが大切です。

平成30年4月17日に実施された平成30年度全国学力・学習状況調査結果をもとに、木津川市の子どもたちの学力と生活実態の状況についてお知らせし、保護者や地域の皆様のご理解とご支援をお願いする次第です。



調査の概要

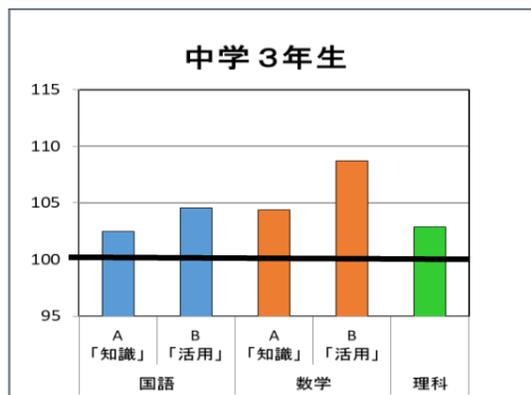
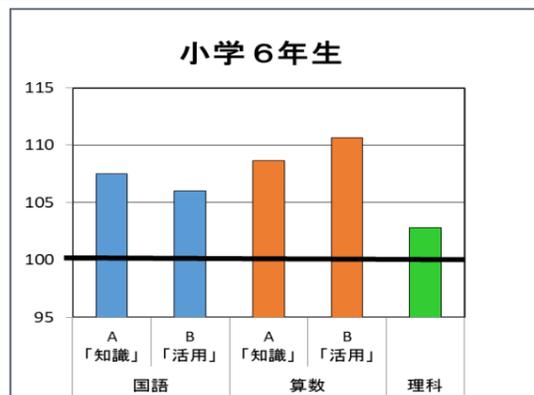
- (1) 目的 全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。小学校6年生、中学校3年生（原則として全児童生徒対象）
- (2) 方法 小学校：国語A・算数A(40分)、国語B(40分)、算数B(40分)、理科(40分)、児童質問紙
中学校：国語A(45分)、国語B(45分)、数学A(45分)、数学B(45分)、理科(45分)、生徒質問紙
- (3) 内容 A問題：主として「知識」に関する問題、B問題：主として「活用」に関する問題
児童生徒質問紙：学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問調査

学力の状況について

全ての教科で、全国平均を上回っています

本市の児童生徒の平均正答率は、全ての教科において全国平均を上回り、特に小学校の国語、算数、中学校の数学Bは、高いレベルに達しています。

今後とも、個々の児童生徒に視点をあて、より質の高い学力の定着と、さらなる「知識」「活用」能力の伸長を目指していきます。



家庭生活の状況について

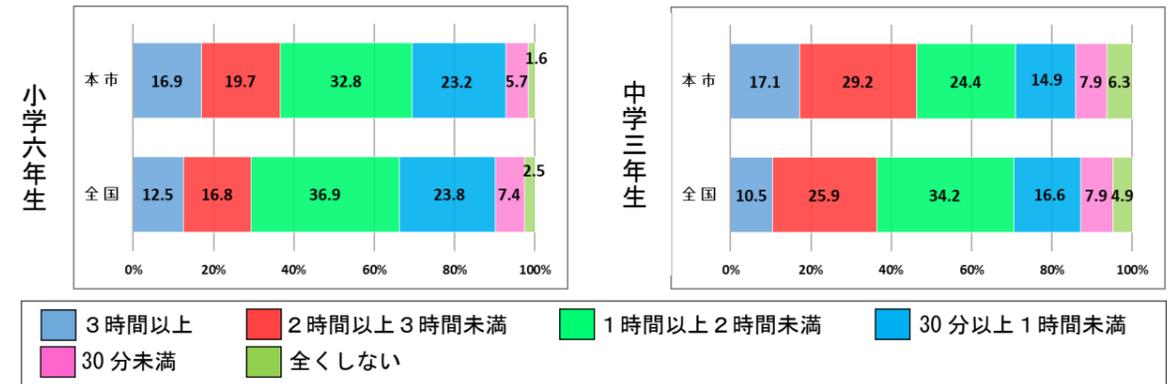
家庭でのよりよい生活・学習習慣のさらなる定着を目指して

＜本市の児童生徒の主な特徴＞

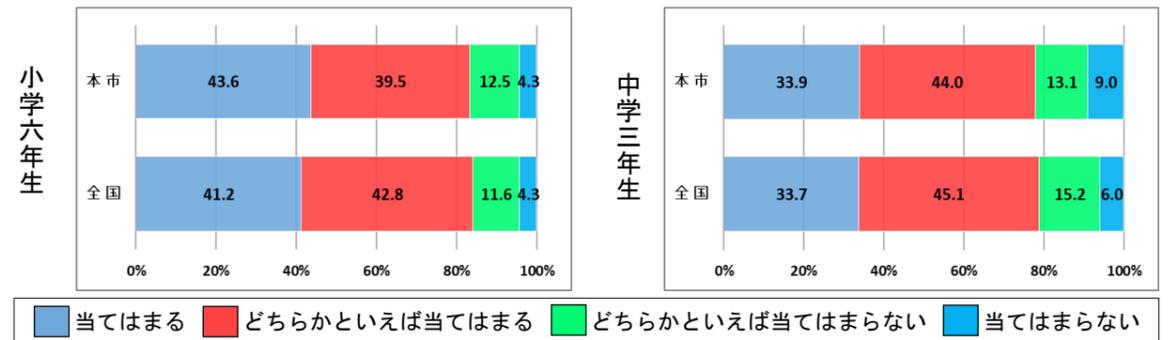
- ・ 学校以外での学習時間の長い児童生徒が多い。しかし、家庭等での学習習慣が身に付いていない児童生徒もいる。
- ・ 「自分によいところがある」と肯定的に感じている児童生徒が8割程度いる。自尊感情の高まりがみられる。
- ・ 家庭で、保護者とコミュニケーションがしっかりとれている児童生徒が多い。（特に中学生）

学校と家庭が連携し、取り組んでいることの成果がでてきています。今後も家庭でのよりよい生活・学習習慣を身に付けるため、さらに学校と家庭が連携を深めていきましょう。

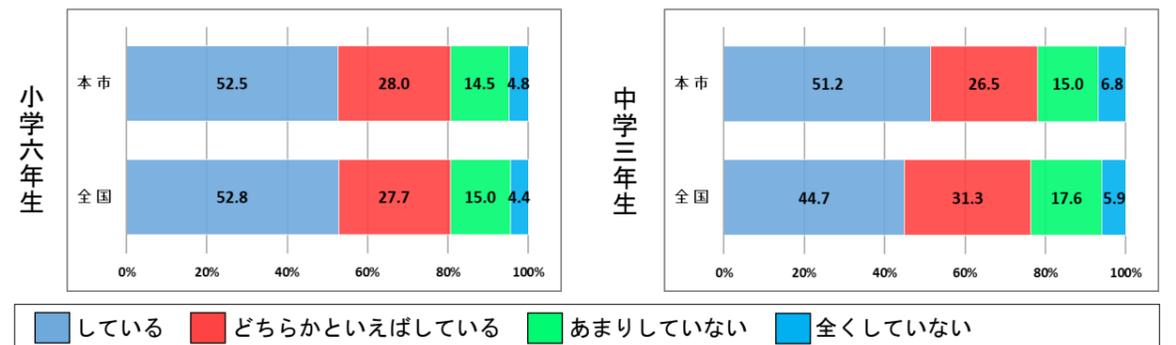
◎ 学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。



◎ 自分には、よいところがあると思いますか。



◎ 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか。



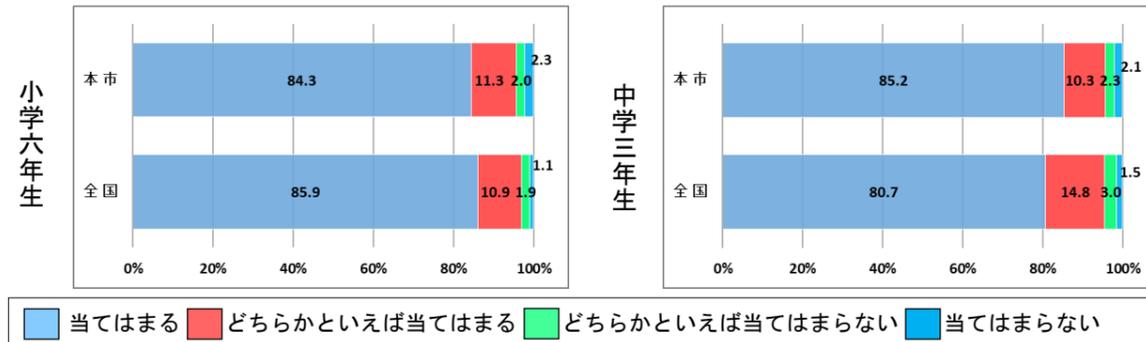
いじめについて

いじめは、ぜったいにゆるさない。いじめのない学校を目指して！

学校では、いじめアンケートや相談活動等を実施し、きめ細やかな実態把握と迅速な対応ができるよう努力しています。また、いじめの根絶に向け、道徳や学級活動等の学習を通じても取り組んでいます。

いじめの未然防止、早期発見・早期対応のためには、ご家庭の協力が不可欠です。日頃から子どもとのコミュニケーションを大切にいただき、悩み事等があれば相談できる環境づくりに、今後もご尽力ください。家庭と学校が連携し、いじめから子どもたちを守りましょう。

◎ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。



ひとりで悩まないで！ 悩みを話してみませんか。

学校に行きづらい、いじめられているかもしれないなどの悩みや不安は、学校や家庭の関わりがあっても十分解決できないこともあります。そのような悩みについて一緒に解決の方向を探っていきたいと考えています。

いじめ、ネットいじめ

- ・子供 SOS ダイアル (文部科学省)
0120-0-78310 (24 時間対応)
- ・ネットいじめ通報サイト (京都府教育委員会)
＜パソコン・携帯電話・スマホから＞
http://www.kyoto-be.ne.jp/gakkyou/cms/?page_id=118

スクール・カウンセラー

- ・巡回相談 (各小中学校)
学校の先生に、相談できる日や時間の予約をしてください。
- ・市カウンセリングルーム (中央図書館2階)
＜電話相談＞ (水・金曜日 14:30-15:30)
0774-72-2650
＜面接相談＞ (水・金曜日 9:30-17:30)
予約：0774-75-1230 (月～金曜日：学校教育課)

体罰 (たいばつ)

- ・体罰専用電話 (京都府教育委員会)
075-612-5013 (毎週水曜日 11:30-18:30)

いろいろな悩みごと

- ・京都いのちの電話 (日本のいのちの電話連盟)
075-864-4343 (24 時間対応)
- ・少年サポートセンター＜ヤングテレホン＞
075-551-7500 (24 時間対応)
- ・京都府総合教育センター (24 時間対応)
＜ふれあい・すこやかテレホン＞
075-612-3268 または 3301
＜メール相談＞
<http://www.kyoto-be.ne.jp/ed-center/m/soudan.htm>
- ・木津川市教育委員会 学校教育課 (直通)
0774-75-1230 (月～金曜日 8:30-17:15)

家庭で大切にしてほしい “ 3つのポイント ”

家庭での学習習慣の定着

- ・家庭学習、読書活動の習慣を身に付けさせましょう。
- ・子どもが学習に集中できる環境づくりに努めましょう。

基本的な生活習慣の確立

- ・早寝、早起き、朝ご飯を実行させましょう。
- ・携帯電話、スマートフォンの使い方や使用時間について、ルールを決めましょう。

家庭でのコミュニケーション

- ・学校での出来事や、地域・社会で起こっている出来事について、親子で話をしましょう。

災害から子どもたちを守るために

「木津川市防災ハンドブック」を活用し、災害に備えよう！

平成 30 年は、大地震や台風接近などの自然災害に悩まされ、全国的にも被害が多い年になりました。平成 30 年 6 月 18 日大阪府北部を震源として大きな地震が発生し、登校の時間帯と重なっていたということもあり、子どもたちは様々な状況で地震に遭遇し、避難しました。

近い将来に発生が危惧される南海トラフ地震など、大地震に遭遇する可能性が木津川市でもあります。また、近年の異常気象のため、台風の接近による風や雨等による被害のリスクも高まっています。

子どもたちのかけがえのない命を守るためには、子どもたちの防災意識と知識・能力を高め、災害から身を守る力をはぐくむことが重要です。木津川市では、防災ハンドブックを作成し、配付いたします。保護者の皆様にも、お子様と一緒に考えていただくことにより、家族の防災意識の向上や、家庭や地域の防災対策に取り組んでいただきたいと思います。



幼稚園児、小中学生に配付される「木津川市防災ハンドブック」

問い合わせ先 木津川市教育委員会 学校教育課
〒 619-0286 京都府木津川市木津南垣外 110 番地 9
TEL 0774-75-1230 (直通) FAX 0774-73-2566